

九詩期会第8回例会

2016/11/10 八洲学園大学7A教室

1 本日の予定

13:30～15:00 詩稿の講評

古田先生：宇野、梅村、諸星、平賀、古川、松本、南上、山口

大谷先生：牛山、岡嶋、武田、辰巳、原田、三浦、三並、森谷

15:15～ 講義 大谷先生、古田先生

16:00～ 事務連絡・打合せ

2 審議・事務連絡等

(1) 九詩期会関連 19 辰巳さん退会

① 新名簿：会員 ~~20~~名（うち休会中1名） 五十音順に配列して新番号
1月提出分詩稿から新番号で提出を。

② 10月作品展 掛軸：諸星さん 自詠自書

扇子：牛山さん書：詩は牛山さん、宇野さん、松本さん を出品、好評。

→3月の漢詩大会・フェスティバルにも出品予定

(2) 神漢連関係

① 総会及び十周年式典（10/19）開催：協力ありがとうございました。

② 漢詩大会・漢詩フェスティバル：参加・協力・勧誘を

3月16（木）、17日（金） 横浜市開港記念開館

17日午後：大会表彰式、石川忠久先生講演会、懇親会

チラシ・ハガキを各会員に送付予定（11月中？）

③ 全日本漢詩連盟（全漢連）の体制変更（11月中？に各会員あて説明送付）

・これまで並列関係の全漢連と地区漢詩団体（神漢連など）を29年4月から全漢連をヘッドとする統一組織に移行。法人化も検討。

・個人会員だった方は神漢連経由での会費納入を（年2,000円→1,800円に）。「個人正会員」

資格は変更なし：年4会報、年1機関誌「扶桑風韻」、漢詩大会等

・新たに「準会員」制度：年1,000円…年1機関誌「扶桑風韻」、漢詩大会応募

・これまでどおり神漢連会費のみ：人数のみ全漢連登録の「地区会員」に

④ 公開質問状とその回答

・別紙のとおり。 (HP掲載省略)

⑤ その他 ・参考資料：ウェブサイト「寒泉」「風韻」紹介

(3) 事務連絡

・次回例会 2017年1月12日（木）13:30～ 八洲学園大学7階7A教室

終了後懇親会？

陶淵明のお話は如何？

《帰りなんいざ、田園まさにあれんとす》で有名な中国東晋時代の詩人

神奈川県漢詩連盟 10周年記念大会

入場無料

NHKカルチャー「漢詩紀行」などでおなじみの
石川先生が講演されます



☆お気軽にどうぞ☆

全日本漢詩連盟会長
二松学舎大学名誉教授
石川忠久先生

① 記念講演：“陶淵明の詩と人生”

2017年3月17日(金)

15:00~16:30 1階講堂

② 展示コーナー：1階1号室・日時③と同じ

自詠自書展、漢詩と写真、漢詩入りバッグ展

③ 漢詩を学ぶ、漢詩で遊ぶ、体験コーナー

3月16日(木)10:00~16:00

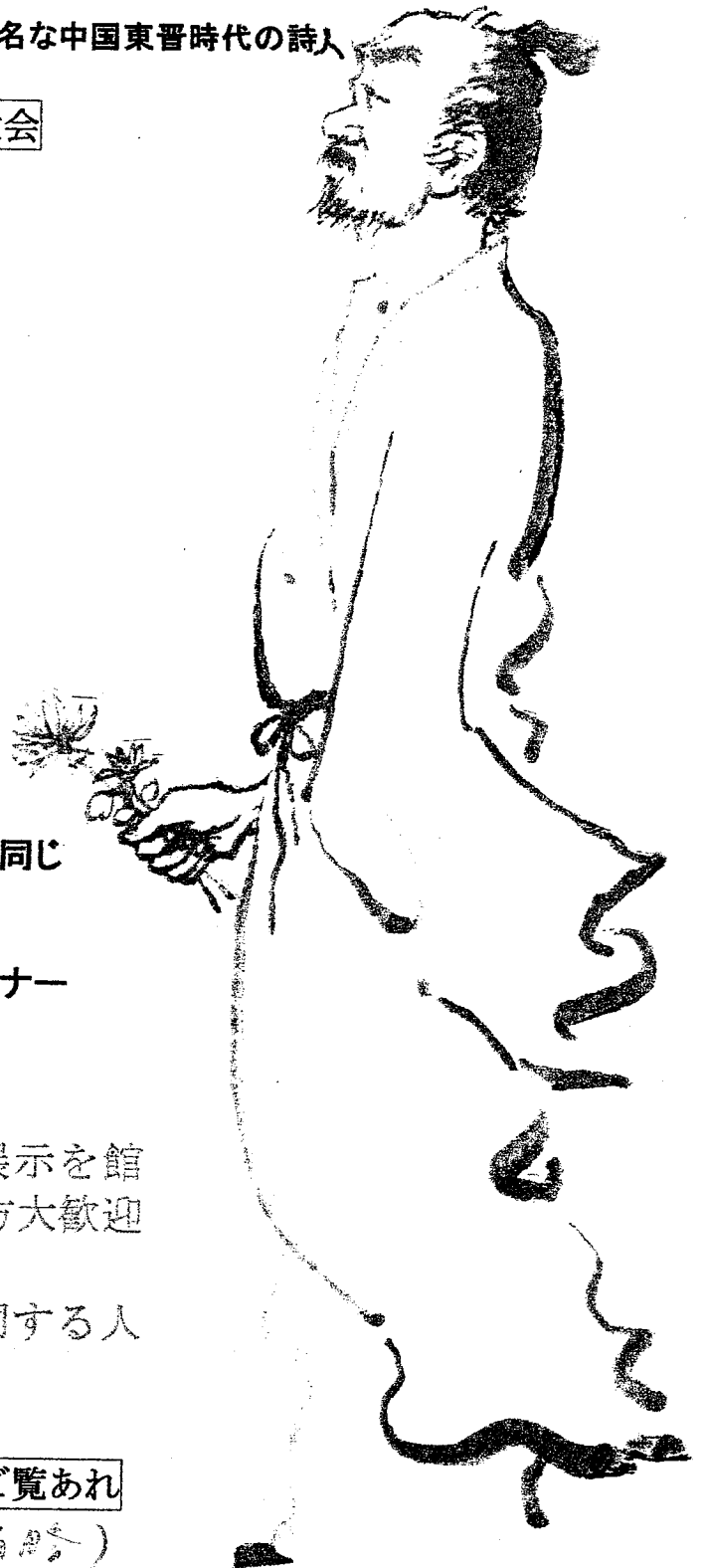
3月17日(金)10:00~12:00 2階9号室

この外漢詩に関連した行事や展示を館
内で実施します。ご興味のある方大歓迎
です。

初めての人も俳句や川柳を作詞する人
も同じように漢詩が作れます。

裏面ご覧あれ

(省略)



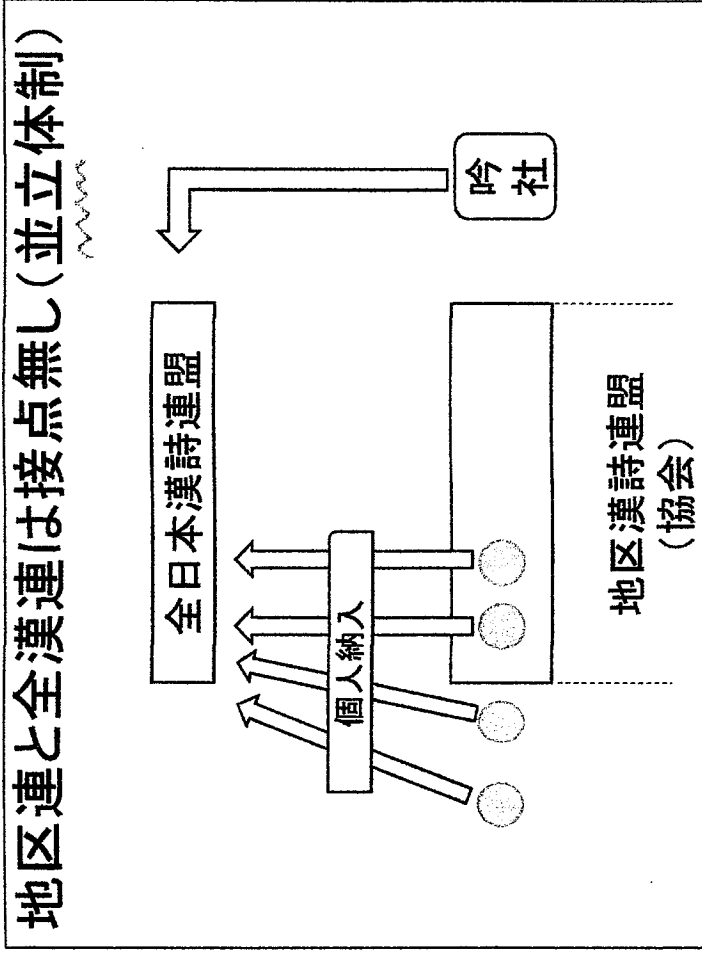
開催日：2017年3月16日(木)~17日(金)

場所：横浜市開港記念会館 地図は裏面にあります

<図1>

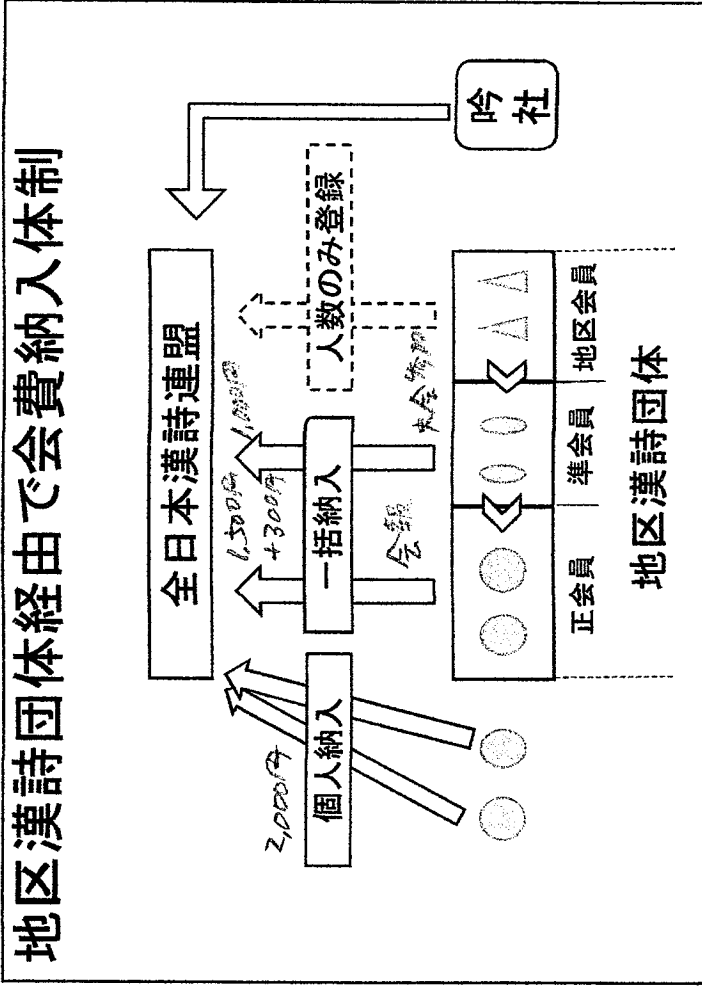
地区漢詩団体(一括加入無し)の現状と対策

<現状>



○ : 個人正会員

<新体制>



○ : 個人正会員

◐ : 個人準会員

△ : 個人地区会員

2016(平成28)4.1

全漢詩連會報

第52号

全日本漢詩連盟

 東京都文京区湯島1-4-25 湯島聖堂内
 斯文会館(〒113-0034)
 電話 03-3251-4606
 FAX 03-3251-4853
 振替 00150-2-583731
 発行人 石川 久
 編集人 岡崎 満義

ウェブサイトの「詩語」検索 「寒泉」と「搜韻」を利用しよう

常務理事 中山正道

湯島聖堂における当連盟会長・石川先生の漢詩創作教室において、初心者用に毎年度初めに「漢詩を作ろう」と題する一枚の文書が配られます。この中の「漢詩を作る心得」の項

に「詩語(熟語)を用い、生語を用いない」また、別の項に「和語を使わないようにする」とあり、先生は「漢詩作詩に当たっては、古い中国の漢詩に使用例のある語(熟した語＝熟語)を用い、自分で勝手に語を作らない」ことや「和語(＝日本のことば)を使わないことが肝要」ということを毎年説明されます。

また先生の近著『石川忠久・漢詩の稽古』の巻末にある「稽古索引」をみると、前記に關した「アドバイス」が多々あり、それは「和語の表現・発想である」、「漢語の語法にかなっていない」、「詩語らしい語を用いる」などに集約されます。ここでは、自分で漢詩を詠む際に思いついた語が、果たして中国詩に用例のある「熟語」かどうか、また語順は正しいのかなどを確認するのに利用できるウェブサイトを紹介します。実際に私が作詩の際に頻繁に用いているもので、自宅ではパソコンで、外ではタブレット端末で使っています。(スマホでは試したことはありませんが可能かと思えます)。

1. 「寒泉」(<http://skqs.lib.ntnu.edu.tw/dragon/>)
このサイトの中の『全唐詩』を選び、「熟語」をインプットして検索すれば、その語の使用されている唐詩が抜き出され、唐詩(『全唐詩』に収められているもの約4万9千首)の中に、調べたい語の使用例があったことがわかります。
(ちなみにこのサイトでは全唐詩以外の中国古典文献の検索もできます)
2. 「搜韻」(<http://sou-yun.com/>)
このサイトの説明では、「~~詩経~~」に始まり「現代」の詩まで計約68万首の詩詞について検索可能とあります。私はまず「唐」「宋」に絞って検索をしてみます。このように時代を想定した検索が可能です。ちなみに「唐」代のもものでは約2千9百人の詩人による4万9千首が、「宋」代のもものでは約9千6百人による27万6千首が検索できます。なお、このサイトは基本的には「簡体字」ですので私にはやや使いづらいですが、なにせ唐詩以外のものも含め大変多くの詩の検索ができますので、重宝しています。

書面の関係で、これらのサイトの詳しい利用方法の説明などはできませんので、ご興味のある場合は、全漢連事務局・中山までお問い合わせください。できればお一人ずつ個別の対応ではなく、地区連・団体などの代表の方に、実際のパソコンなどの画面を用いて説明させていただき、お仲間にも広めていただければと思います。